



11月の園だより

太陽の子保育園 H28.11

公園の桜の葉も色づき、秋の深まりを感じる季節となりました。子どもたちは、散歩に出かけ、どんぐりや落ち葉、木の枝を集めてきて、自由にあそんだり、製作活動に勤しんでいます。

現在行っている個別面談では4月当初から約半年間のお子様の園での様子や活動を、限られた時間ではありますがお話をさせていただいています。面談を通じて、成長をより一層感じていただければと思います。すでに面談を終えた保護者の皆様につきましては、お忙しい中足を運んでいただき本当にありがとうございました。

これからも沢山の楽しい行事を控えています。気候の変化で体調を崩しやすくなってきますが、生活リズムを整え元気に登園していただければと思います。



平成29年度 保育園入園のしおりを配布します

来年度4月以降に羽村市内の保育園に入園をご希望される方に対して「保育園入園のしおり」「入園申込書」「勤務証明書」を11/2より配布します。ご必要な方は受付までお声かけください（提出は羽村市役所子育て支援課保育・幼稚園係窓口12/1～12/14）。

保育園変更を希望する方に「保育園変更願」も配布しています。

次年度以降継続して保育園をご利用する方への「継続申請書」は1月中の書類受付予定となっています。

雨の中、運動会にご参加いただき本当にありがとうございました

親子運動会では雨天にも関わらず、多くの方にご参加いただきありがとうございました。4月からの半年間で、心身ともに成長したお子様の姿に感慨もひとしおだったのではと思います。また、アンケートにもご協力をいただきありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見をもとに、雨天時の実施方法を含め、来年度への貴重な参考資料とさせていただきます。



もちつき大会(12/9) 餅つき手を大募集!!

12月9日(金)に実施する「もちつき大会」でつき手としてご協力いただける保護者の方を募集しています(要細菌検査)。詳細は後日配布するお便りをご覧ください。



11月の予定

- 1(火) 調理保育(らいおん)
- 2(水) 懇談会(ひよこ)
- 4(金) 調理保育(ぱんだ)
- 4(金) 懇談会(べんぎん)
- 8(火) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 9(水) 保育参加・懇談会(ぱんだ)
- 10(木) 保育参加・懇談会(くま)
- 11(金) 保育参加・懇談会(うさぎ)
- 15(火) 体育指導(幼児)
- 16(水) 音楽指導(幼児)
- 17(木) 避難訓練
- 17(木) 職員園内研修
- 19(土) 保育研究大会
- 21~25 身体測定
- 25(金) お誕生日会



12月の予定

- 3(土) はむら保育展
- 6(火) 避難訓練
- 7(水) 音楽指導(幼児)
- 9(金) もちつき
- 12~16 身体測定
- 13(火) 体育指導(幼児)
- 16(金) お誕生日会
- 17(土) 大掃除
- 19(月) 心理巡回
- 19(月) 園内職員研修
- 21(水) 音楽指導(幼児)
- 22(木) 調理保育(らいおん)

はむら保育展

12/3(土) 10:00~16:00

保育展は、羽村市内にある公立・私立の保育園が、普段の保育の様子を広く皆様に紹介するイベントです。今年度の保育展は、りす組の山田紗菜が担当となります。羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」

幼児期の子育てでたいせつなことは 子どものプライドを尊重した対応

「3～6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる」 汐見稔幸著 主婦の友社より抜粋



幼児期は仲間から認められたい時期

幼児期の大きな特徴は、親から離れて友だちとかなり長い時間、遊ぶことができるようになることです。

友だちをほしがるようになり、それがさらに発展して、集団の中の一員として遊ぶことができるようになります。そして、自分のやっていることが他人にどう見られているか、ということまで関心を持つような自我や知性が急速に育っていきます。

子どもにとって、2歳くらいまではお母さんやお父さんにたいせつにされ、家庭の中で大事にされるのが最重要でしたが、幼児期になって集団で遊ぶようになると、その集団の中で自分が認められることもたいせつになってきます。

いろいろな運動ができると 子どもは喜びを感じる

また、4～5歳を過ぎるころには「失敗してカッコ悪いのはいやだな」という思いが出てきて、これまでのように何でも無邪気に挑戦することができなくなります。そんなときも、「そういう時期なのね」と発達段階を理解していれば、「いままでは挑戦していたのに、どうしてやらないの?」と無神経にしかったりすることもないでしょう。「やりたくないときもあるわよね」と子どものプライドを傷つけないように共感して、「だれでも最初は失敗するんだから、やってみたら」とじょうずに励ましたりもできます。幼児期は身体能力が伸びて、活発になる時期でもあります。全速力で走ったり、木に登れるようになったり、スキップもできるようになります。

人間にはひとつの能力がついてくると、それをもっと伸ばしたいと本能的に行動します。走れるようになったらどこまでも走りたい、鉄棒のさか上がりができるようになるのと何度もやりたい。自分の可能性を自分でどんどん伸ばしていくわけですから、それを応援すればいいだけです。

5～6歳の反抗期は 運動不足の欲求不満から

最近、5～6歳の子どもが反抗期で困るというお母さんが多くなりました。反抗期というのは2歳ごろに自我が育ってきて、何でも自分でやりたいのにやってみるとうまくいかないイライラや、赤ちゃん扱いされることへの反発で、扱いがむずかしくなる時期のことをさします。4～5歳ともなれば聞き分けがよくなり、一般的には反抗期も終わっているはずですが。

しかし、現在の子育て環境は、思いきった遊びをさせることがむずかしくなっています。子どもは、たくさん体を動かしたい時期なのに動かせないことに欲求不満になり、反抗的になってしまうのです。

そんなとき、子どもの発達を理解して、なぜ反抗的になるのかわかれば、「もっと外で遊ばせてやればいいんだ」という解決策も見えてくるので、子育てはぐっとラクになります。

子育てで子どもは変わる。「発達」を理解していいいな子育てを

発達は少しずつ少しずつ進んでいくので、すっ飛ばしていきなりむずかしいことができるようになるわけではありません。子どもに対して、「どうしてその程度のことかわからないの?」「もっとちゃんと勉強しなさい」と言って通じるには、考える力が大人と同じ程度になっていることが必要で、そうなるのはだいたい15～16歳以降です。あと10年以上は時間がかかりますね。まわりに子どもがたくさんいれば、いろんな年齢の子どもたちを見て、「4歳ではできなかったけれど、6歳くらいになればすんなりできるのね」と自然にわかるものです。でも、いまはそれがむずかしい。発達のおおまかな道すじを押さえておくことは、その意味でもとてもたいせつなことです。ぜひ子どもの発達を理解して、無理のない子育てをしてください。